



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社

コード番号 8098 URL <https://www.inabata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務経営管理室長 (氏名) 農田 康一 TEL 03-3639-6421

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	128,701	△16.1	2,227	△36.5	3,072	△29.8	2,020	△33.9
2020年3月期第1四半期	153,461	△3.0	3,507	0.6	4,377	15.3	3,054	△17.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 7,708百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △9,333百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	33.56	—
2020年3月期第1四半期	50.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	311,012	152,578	48.5
2020年3月期	322,848	147,726	45.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 150,948百万円 2020年3月期 145,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	33.00	53.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	20.00	—	33.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	260,000	△15.5	4,000	△43.9	4,400	△44.6	3,800	△43.6	63.13
通期	550,000	△8.4	9,500	△28.2	10,000	△29.6	8,500	△25.5	141.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	63,499,227株	2020年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,302,640株	2020年3月期	3,302,640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	60,196,587株	2020年3月期1Q	60,496,725株

(注) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は「期末自己株式数」及び「期中平均株式数 (四半期累計)」の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の世界的大流行の影響により、米国、中国をはじめ、欧州ユーロ圏の主要国、インドネシア、タイ、インドなどのアジア新興国など、幅広い国々や地域において、極めて厳しい状況となりました。

一方、日本経済も感染症の影響により、雇用情勢は弱い動きとなり、輸出や生産の急速な減少や企業収益の悪化もみられ、世界経済と同様に極めて厳しい状況となりました。

世界経済、日本経済とも、景気の下げ止まりや持ち直しの動きがみられてきたものの、先行きに対する不透明感是非常に高く、引き続き厳しい状況が見込まれます。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、128,701百万円（対前年同期比16.1%減）となりました。利益面では、営業利益2,227百万円（同36.5%減）、経常利益3,072百万円（同29.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,020百万円（同33.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## 《情報電子事業》

情報電子事業は、主要商材の販売が低調に推移し、売上が減少しました。

液晶関連では、中国のパネルメーカーの稼働は堅調だったものの、偏光板の販売がシェアダウンにより減少しました。偏光板原料の販売は、仕様変更により減少しました。

LED関連では、屋外ディスプレイ向け材料の販売が減少しました。

インクジェットプリンター関連では、テレワークが進み、コンシューマー分野での関連材料の販売が増加しました。一方、産業用分野では、商業印刷の急減により、関連材料の販売が低調となり、全体として横ばいでした。

複写機関連では、テレワークの拡大により、オフィスでのトナー需要が大きく減少し、関連材料の販売が減少しました。

太陽電池関連は、大型システム案件の納入がなかったことや、感染症の影響による主要顧客の稼働低下もあり、材料の販売が減少しました。二次電池関連では、新規ビジネスがスタートし、材料の販売が伸長しました。

フォトマスク関連は、感染症の影響による需要減により材料の販売が減少しました。

半導体、電子部品関連は車載向けが不調でしたが、5Gなどの通信、データセンター向けが堅調に推移し、全体として横ばいでした。

これらの結果、売上高は52,965百万円（同3.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1,188百万円（同0.1%増）となりました。

## 《化学品事業》

化学品事業は、感染症の影響により自動車向けの原料販売などが低調に推移し、売上が減少しました。

樹脂原料・添加剤の販売は、総じて低調でした。

自動車部品業界向け原料の販売は、東南アジア向けが低調でした。

塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、包装材料向けなどが横ばいでしたが、自動車向けが低調でした。

製紙業界向け薬剤の販売は、横ばいでした。

建築資材関連は、感染症の影響による工事停止もあり、販売が減少しました。

これらの結果、売上高は15,313百万円（同15.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は226百万円（同36.8%減）となりました。

## 《生活産業事業》

生活産業事業は、ライフサイエンス関連、食品関連共に感染症の影響により、売上が減少しました。

ライフサイエンス関連では、環境規制や感染症の影響により中国からの供給再開が遅延したこともあり、医薬原料の販売が減少しました。

ホームプロダクツ分野は、防・殺虫剤関連の販売が堅調でした。

食品関連では、国内において外食産業向け輸入水産加工品の販売が減少しました。回転寿司向け魚のスライス加工品の販売は、後半回復したものの、全体として減少しました。米国では外食産業向けのシーフード商品の販売が減少しました。

農産品では、巣ごもり需要により冷凍野菜や冷凍果実の国内向け販売が堅調でした。韓国では冷凍ブルーベリーの販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は8,094百万円（同14.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は309百万円（同21.6%減）となりました。

《合成樹脂事業》

合成樹脂事業は、樹脂価格下落と感染症の影響により、売上が減少しました。

汎用樹脂関連では、一部の食品関連向けやPC・ゲーム機関連を除き、総じて販売が減少しました。

高機能樹脂関連では、自動車関連、OA関連、電気・電子関連と全分野において、国内外で販売が減少しました。特に分野別では自動車分野、地域別ではロックダウン状態にあったフィリピン、インド、インドネシアなど東南アジアの各国において、販売が大きく減少しました。

フィルム関連では、肉食・中食・野菜用の食品包材の販売は好調でしたが、コンビニ・外食・行楽関連向けの販売が不調で、全体では横ばいでした。

シート関連では、コンビニ・ファストフード向け飲料用の販売が減少しました。

スポーツ資材関連では、国内外でスポーツイベントや大会等の中止が相次ぎ、グリップテープの販売が大きく減少しました。

これらの結果、売上高は52,284百万円(同26.1%減)となり、セグメント利益(営業利益)は470百万円(同69.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて11,835百万円減少(対前期末比3.7%減)し、311,012百万円となりました。

流動資産の減少19,062百万円は、主に商品及び製品が増加したものの、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

固定資産の増加7,227百万円は、主に無形固定資産が減少したものの、投資有価証券が時価の上昇に伴い増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて16,686百万円減少(同9.5%減)し、158,434百万円となりました。

流動負債の減少19,219百万円は、主に支払手形及び買掛金、短期借入金、その他並びに未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

固定負債の増加2,532百万円は、主にその他が増加したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4,851百万円増加(同3.3%増)し、152,578百万円となりました。これは、主に資本剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.5%(前連結会計年度末より3.3%ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積もることが困難なことから未定としておりましたが、国内外における経済活動も徐々に再開しつつあることから、現時点において入手可能な予測等をもとに算定いたしました。詳細につきましては本日公表の「2021年3月期業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,440	22,892
受取手形及び売掛金	152,457	138,182
商品及び製品	52,052	54,285
仕掛品	766	640
原材料及び貯蔵品	3,084	3,250
その他	8,022	7,498
貸倒引当金	△686	△674
流動資産合計	245,136	226,073
固定資産		
有形固定資産	13,964	13,975
無形固定資産	3,006	2,840
投資その他の資産		
投資有価証券	54,236	61,760
退職給付に係る資産	2,007	2,028
その他	12,312	12,123
貸倒引当金	△7,815	△7,790
投資その他の資産合計	60,740	68,122
固定資産合計	77,711	84,938
資産合計	322,848	311,012
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,761	84,593
短期借入金	43,073	37,712
未払法人税等	1,631	1,063
賞与引当金	1,217	778
事業整理損失引当金	240	144
その他	7,852	7,264
流動負債合計	150,776	131,557
固定負債		
長期借入金	9,775	9,767
役員退職慰労引当金	30	27
役員株式給付引当金	85	94
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	2,369	2,492
その他	12,065	14,476
固定負債合計	24,344	26,877
負債合計	175,121	158,434
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,752	7,184
利益剰余金	106,197	106,227
自己株式	△4,155	△4,155
株主資本合計	119,159	118,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,196	31,493
繰延ヘッジ損益	148	177
為替換算調整勘定	1,436	1,606
退職給付に係る調整累計額	△1,016	△950
その他の包括利益累計額合計	26,764	32,327
非支配株主持分	1,802	1,629
純資産合計	147,726	152,578
負債純資産合計	322,848	311,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	153,461	128,701
売上原価	141,802	118,938
売上総利益	11,658	9,763
販売費及び一般管理費	8,151	7,535
営業利益	3,507	2,227
営業外収益		
受取利息	49	49
受取配当金	1,086	724
持分法による投資利益	102	93
雑収入	214	353
営業外収益合計	1,452	1,221
営業外費用		
支払利息	385	215
為替差損	116	64
雑損失	80	96
営業外費用合計	582	376
経常利益	4,377	3,072
税金等調整前四半期純利益	4,377	3,072
法人税、住民税及び事業税	1,032	817
法人税等調整額	177	134
法人税等合計	1,209	951
四半期純利益	3,167	2,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	100
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,054	2,020

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,167	2,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,098	5,315
繰延ヘッジ損益	△14	28
為替換算調整勘定	△1,458	241
退職給付に係る調整額	52	66
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△65
その他の包括利益合計	△12,501	5,587
四半期包括利益	△9,333	7,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,414	7,582
非支配株主に係る四半期包括利益	81	126



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、当社取締役(社外取締役を除く)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットだけでなく、株価下落リスクも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前第1四半期連結会計期間末164百万円、100,000株、当第1四半期連結会計期間末164百万円、100,000株であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	55,002	18,176	9,498	70,739	153,417	44	153,461	-	153,461
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	55,002	18,176	9,498	70,739	153,417	44	153,461	-	153,461
セグメント利益	1,187	357	394	1,534	3,473	34	3,507	-	3,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	52,965	15,313	8,094	52,284	128,658	43	128,701	-	128,701
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	52,965	15,313	8,094	52,284	128,658	43	128,701	-	128,701
セグメント利益	1,188	226	309	470	2,194	32	2,227	-	2,227

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。